



「沖縄戦トラウマ」の理解と「語り合い」の可能性

家族に、地域に、受け継がれた

痛みとともに生きる

沖縄戦から80余年を経た今も、家族や地域には「戦争トラウマ」が残り続けています。戦禍の痛みは、家庭内の沈黙や葛藤、生きづらさとなって次の世代へ受け継がれてきました。そうした「見えない傷」をなかったことにせず、私たちはそれとどう向き合い、抱えながら生きていけるのか。臨床・当事者・実践の三つの視点から、ともに考えます。

今後、世代間で伝達された「痛み」を抱えながら生きる体験者の子や孫の世代を対象に、「語り合いの場」を継続していく予定です。その第一歩として、これまで体験者と長年続けてきた実践を手がかりに、「語り合うこと」の意味を見つめます。

5月23日(土) 13:00～16:00 会場：沖縄大学アネックス共創館 (那覇市字国場405番地)

基調講演

大城 由敬 氏

心の傷とともに生きる
—沖縄の文化が育てた、
個人を超えた心の成長—



那覇中出身
臨床心理士。公認心理師。
平安病院にてトラウマケア
を中心に行っている。
沖縄トラウマケアネットワ
ーク代表で、主にトラウマ
関連の研修を企画・運営
し、全国に発信している。

リレートーク

幸喜 愛 氏

沖縄中出身
沖縄県議会議員

家族の中で受け継がれる
沖縄戦トラウマと向き合う



那覇中出身
沖縄大学教授

吉川 麻衣子 氏

地域にひらかれた語り合い
の場—ともに生きるために

対話の時間

来場者もともに

痛みを抱えながら
ともに生きる
社会とは



体験者の子や孫世代を対象
とした「語り合いの場」の
開催に向けて

語り合いの場とは

語り合いの場は、無理に語ることを求めるものではありません。語りたい思いを尊重し、言葉になるまでの時間と、「語ること」「語らないこと」の両方を大切にします。本講座では、その出発点を皆さまと共有します。なお、気持ちが揺れた際に無理をせず過ごせるよう、休息や呼吸法等を行うことができるスペースを用意します。

問い合わせ先：沖縄大学地域研究所
住 所：那覇市字国場405番地
TEL：098-832-5599
Email：chiken-staff@okinawa-u.ac.jp

参加費
無料

右記QRコード
もしくは沖縄大学
ホームページから
お申込みください。



大学駐車場・駐輪場 案内図



★土曜教養講座今後の予定★

日時：2026年7月18日（土）

（仮題）性犯罪と刑事司法のいま
～（ジェンダー・女性・地域）の視点で問い直す～
登壇者：若林千代、矢野恵美、親川裕子

日時：2026年8月29日（土）

沖縄微生物ライブラリーとは？亜熱帯の生き物に潜む共生微生物の可能性
～微生物共生がもたらす島の生物資源を未来へ残そう～
登壇者：盛口満、新里尚也、伴さやか